



議会だより



ヒシ 取ったぞ～！「猪苗代湖水質改善プログラム」

猪苗代湖青浜

平成30年9月定例会

あらまし・決算状況	2
予算決算審査特別委員会・決算の意見	4
議案審議・臨時会・請願・陳情・一般質問目次	6
一般質問 6人が登壇	8
委員会レポート	14
わたしたちの町(吾妻中学校)	16



議会だより

福島県 耶麻郡 猪苗代町 字城南 100 番地

<https://www.town.inawashiro.fukushima.jp/>

9月定例会



町民一人当たり
543,384 円を
使いました。

議会費	7,458	円
総務費	70,066	円
民生費	94,104	円
衛生費	31,543	円
農林水産費	35,638	円
商工費	26,196	円
土木費	98,187	円
消防費	30,625	円
教育費	80,078	円
災害復旧費	0	円
公債費	69,489	円

※平成30年3月末人口14,481人で算定

町債とは？

大きな事業をするために借り入れるお金のこと。

財政力指数とは？

1に近く1を超えるほど財源に余裕があるとされている。

経常収支比率とは？

財政構造の弾力性を判定する基準で、75%以下が望ましいとされている。

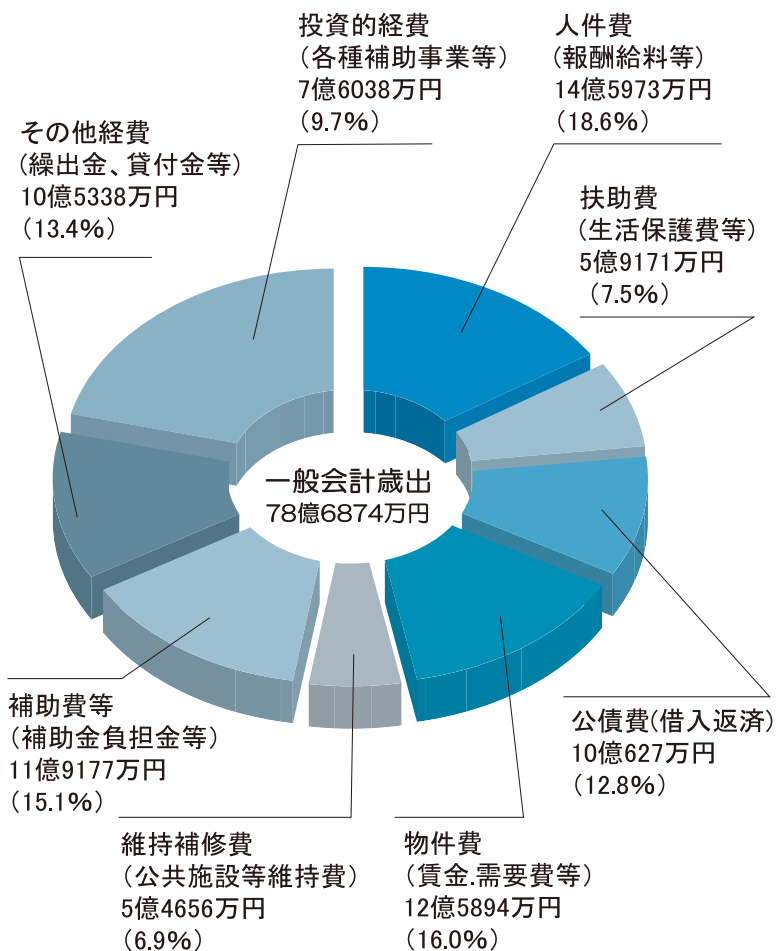
実質公債費比率とは？

歳入に対する公債費の占める割合で、25%で早期健全化に該当するとされている。

将来負担比率とは？

一般会計の負債が一般会計の標準的な年間収入の何年分であるかを表す割合で、350%で早期健全化に該当するとされている。

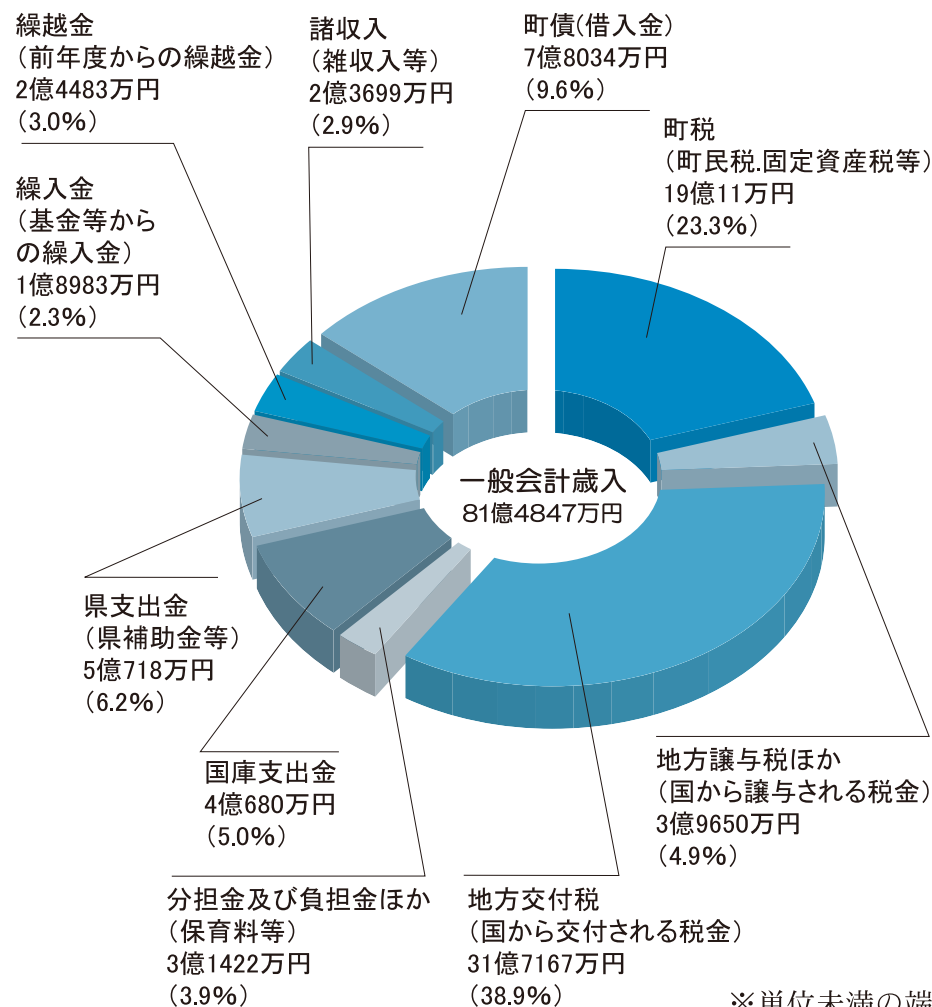
平成29年度 決算をチェック!!



29年度末町債残高

一般会計は91億4797万円 (前年比1億5304万円減)
特別会計は51億7149万円 (前年比2億1961万円減)

区分	29年度	28年度	27年度
財政力指数	0.392	0.392	0.388
経常収支比率	89.4	87.7	83.9
実質公債費比率	9.4	9.1	9.8
将来負担比率	66.4	64.3	67.8



※単位未満の端数切り捨て。
※財産区特別会計の決算額については省略。

平成29年度 会計別決算額

会 計		歳入決算額	歳出決算額
一 般 会 計		81億4847万円	78億6874万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	18億8238万円	18億5889万円
	後 期 高 齢 者 医 療	1億7195万円	1億7181万円
	介 護 保 険	17億6616万円	17億5600万円
	下 水 道 事 業	5億605万円	4億9302万円
	特定環境保全下水道事業	1億3829万円	1億3469万円
	農 業 集 落 排 水 事 業	1億6044万円	1億5687万円
病 院 会 計	収益的収支	7786万円	7799万円
	資本的収支	5718万円	5718万円
水 道 会 計	収益的収支	3億7074万円	3億1992万円
	資本的収支	3317万円	1億4316万円

あらまし

9月定例会は、9月4日から14日まで開催されました。
町長から提出された議案は、29年度の決算認定3件、30年度補正予算13件、条例の一部改正4件、人事案件4件、委員会提出議案2件、議長発議案1件であり、すべて原案のとおり認定・可決・同意しました。
一般質問は6人の議員により2日間にわたり行われました。

議長を除く13人の委員で、平成29年度決算を3件、平成30年度補正予算13件を審査しました。

平成29年度決算

【主な質疑】

一般会計

歳入

《町税》

問 4484万円増額の要因は。

答 固定資産税の28年度分が29年度に納入された金額と、滞納繰越分の大口納付があったためである。

問 収入未済の固定資産税1億8491万円への対応は。

答 会津地域地方税の滞納整理機構チームへ参加しており、今まで行っていないかった差押えをするなど、適性に滞納整理を進めていく。

歳出

《商工費》

問 風評被害対策費368万円の増額は。

答 風評被害対策の教育旅行分で、予算額に達したが、その後も申込みがあり、増額するものである。

《土木費》

問 道路除雪費委託料の1億3千万円増額で、30年度の除雪費の見込みは立つのか。また、当初より不足は見込んでいたのか。

答 その年の天候に大きく左右されるが、過去3年間の平均額に合わせて増額補正した。また、厳しい当初予算編成で、こういう計上の仕方が好ましくないことは承知している。

歳出

《総務費》

問 ふるさと納税事業費は、寄付金の60・7％である。寄付金に対していくらの返礼品を算定しているのか。

答 平成12年度から22年度までの未納額111万円の対象者11名に対し、督促状や催告、訪問徴収等を行ったが、収入がなかったため不能欠損とした。

《商工費》

問 土津神社ライトアップ事業の補助内容は。

答 補助対象事業者は猪苗代町商工会で、電気代、設置に係る費用を対象にしている。

平成30年度補正予算

一般会計

歳入

《地方交付税》

問 増額の要因は。

答 1億5200万円の増額は、当初予算で算定基準により予算割れが生じないよう、低めに見積もった。本算定を行った結果、増額となった。

《県支出金》

問 活力ある商店街支援事業補助金の空き店舗活用に伴う家賃補助増額は。

答 九軒町の空き店舗を利用して行う事業が、活力ある商店街支援事業に該当するため計上した。



昭和40年に供用開始した猪苗代中学校

平成29年度 一般会計決算の意見

【はじめに】

平成29年度の一般会計及び特別会計(10会計)と、公営企業会計である病院事業会計、水道事業会計の決算について審査した。

【決算の規模】

一般会計と特別会計(10会計)を合わせた決算額は、歳入総額128億2616万5千円、前年度比7.7％の減、歳出総額124億9063万円、前年度比7.6％の減で、歳入歳出とも前年度を下回る決算となった。

また、病院事業会計は、事業収益が7786万1488円、前年度比3.5％の減、事業費用が7811万8527円、前年度比3.5％の減となり、水道事業会計は、事業収益が3億4751万7841円、前年度比1.4％の増、事業費用が3億234万1776円、前年度比1.5％の増となっている。

【歳入】

決算額81億4847万3千円で、前年度決算額92億1917万5千円に比べ11.6％の減となっている。これは、前年度で道の駅整備事業の本体工事が終了したことなどにより、国庫支出金、県支出金、町債が大きく減額となり、歳入全体で10億7070万2千円の減となった。

【歳出】

決算額78億6874万6千円で、前年度決算額89億7434万2千円に比べ12.3％の減となっている。これは、前年度で道の駅整備事業の本体工事が終了したことにより、土木費が11億4465万2

千円の減となったことが最大の要因で、歳出全体では11億559万6千円の減となった。

【町債】

前年度末と比べて一般会計が1億5303万円の減、特別会計が2億1960万9千円の減、総額で3億7263万9千円の減となった。

【基金】

教育施設整備等基金に1億3117万7千円を積み立てたが、財源を調整するための財政調整基金、地域福祉基金、東日本大震災に係る復旧復興事業としての震災復興基金を取り崩したため、前年度末に比べ全体で5706万円の減となった。

【おわりに】

平成29年度は、道の駅整備事業の本体工事や年金生活者等支援臨時福祉給付金事業などの規模の大きい事業が前年度において完了したこともあり、町財政の指針となる指数は概ね良好であった。また、各会計の決算書及び報告書はいずれも関係法令等に基づいて作成され、会計経理は正確であった。

今後は、教育施設の整備・充実に向けた事業費や町債発行に伴う公債費の増大も予想されるため、的確な財政収支の分析により、長期的で健全な財政運営が図られるよう努力されることを望み、決算に対する意見とする。

監査委員 佐賀 要一
監査委員 渡辺 真一郎

【主な質疑】

「猪苗代町税条例等の一部を改正する条例」

問 固定資産税の経過措置で、最初の3年間の価格をゼロとするのが町条例の規定追加は、猪苗代だけか。該当する中小企業は。

答 本町だけではない。該当する企業はゼロである。

「猪苗代町農村環境改善センター条例の一部を改正する条例」

問 今まで自由に使うことができた老人憩い室を、利用しやすくするため、有料施設になぜ追加するのか。

答 占有的に使用したい団体等がある。無料貸し出しも検討したが、施設を使う方と使わない町民の方の公平を考え、一定の受益者負担をお願いする。

【反対討論】

【五十嵐 ミエ子】
住民の教養向上や健康増進などに使われている。使用料の受益者負担は馴染まず、納得がいかないので反対。

猪苗代町固定資産評価審査委員会委員の同意

「猪苗代町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて」

平成30年10月1日からの3年間、氏田勝氏、長澤一夫氏、田代剛氏を適任と認め、全会一致で同意した。



田代 剛 氏
(樋ノ口)



長澤 一夫 氏
(川桁)



氏田 勝 氏
(百目貫)

猪苗代町教育委員会教育委員の同意

「猪苗代町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて」

平成30年10月1日からの3年間、鈴木兵市氏を適任と認め、全会一致で同意した。



鈴木 兵市 氏
(西久保)

【議案内容と可決状況】

件 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	結果
	星野あけみ	瀧田勝昭	佐瀬 真	細貝 功人	佐藤英一郎	欠 員	渡辺 二公	長澤 操	金本久美子	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	佐藤光幸	関沢和人	後藤公男	長沼一夫	
猪苗代町農村環境改善センター条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	－	×	○	○	○	×	○	×	○	－	可決
平成30年度猪苗代町一般会計補正予算(第4号)	○	×	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
平成30年度猪苗代町翁島地区財産区特別会計補正予算(第1号)	○	×	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決

上記以外の議案については全会一致で可決しました。

※賛成は「○」、反対は「×」、同数の場合は議長が採決に加わる。

猪苗代町監査委員の同意

「監査委員の選任につき同意を求めることについて」

平成30年7月20日から32年2月29日まで、渡辺真一郎氏を適任と認め、全会一致で同意した。



渡辺 真一郎 氏
(沼ノ倉)



車椅子リフトの付いたマイクロバスを購入

【財産の取得】
老人福祉センター送迎バスの老朽化に伴い、車椅子での乗降可能なバリアフリー対応のマイクロバス1台を1120万円で購入する。納入期限は平成30年11月30日である。

臨時会(7月20日)

あらまし
平成30年第3回臨時会は7月20日開催されました。町長から提出された議案は、財産の取得1件、人事案件1件であり、すべて原案のとおり可決しました。

あなたの声を審議しました!!

9月定例会で審議された「請願・陳情」の結果は次のとおりです。

区分	件 名 請願者の氏名	紹介議員氏名	付 託 委員会	審議 結果
請願 第5号	国の被災児童生徒就学支援等事業の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願	渡辺 二公	文教 厚生	採択
	福島県教職員組合 中央執行委員長 角田 政志			
	福島県教職員組合 北会支部 支部長代行 猪俣 優子			
請願 第6号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出の請願について	渡辺 二公	文教 厚生	採択
	日本労働組合総連合会福島県連合会 耶麻・喜多方地区連合会 議長 黒田 修			
陳情 第4号	町道舗装に関する陳情		経済 建設	採択
	東南真行区長 笠原 勝則			

委員会提出議案

「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書

【提出者】 文教厚生常任委員会

【内 容】 東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・修学を保障するため、平成31年度以降も、全額国庫で支援する「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、十分な就学支援に必要な予算の確保をすること。

【提出先】 復興大臣、文部科学大臣、総務大臣、財務大臣

地方財政の充実と強化を求める意見書

【提出者】 総務常任委員会

【内 容】 2019年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、国民生活を犠牲にする財政とするのではなく、歳入・歳出を的確に見積り、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立を目指すこと。

【提出先】 内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣（地方創生・規制改革担当）内閣府特命担当大臣（経済財政政策担当）

一般質問
町政を問う

〇〇〇 主な質問事項 〇〇〇

金本 久美子

猪苗代高等学校存続

細貝 功人

高齢者対策

五十嵐 ミエ子

室内ゲートボール場建設

渡辺 真一郎

健康サポートマイレージ制度の導入

瀧田 勝昭

猪苗代城址の活用

佐瀬 真

猪苗代高校の存続

一般質問とは？

議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をただすこと。

本町の質問時間は、答弁を含め60分以内で1問1答方式である。



金本 久美子

【質問】町に高校があるということの位置付けは。

【総務課長】猪苗代高校は地域の磐梯まつりや文化祭、町内の老人ホームへの慰問コンサート、またボランティア活動などを通して地域住民と幅広い交流を行っている。域に活力を与えている。さらに、地域、地元企業へ就職することで地域発展への大きな戦力となっており、将来の基幹産業を支える存在であると考えている。

【質問】猪苗代高校に今後期待するものは。

【総務課長】猪苗代高校ならではの特色ある独自の学校経営により、優秀な人材を育て、地域の発展に寄与していただきたい。

Q. 高齢者の一人暮らしの状況は A. 674世帯である

【質問】高齢化率の現状は。

【保健福祉課長】平成30年7月末で35・9%である。32年度では37・3%と見込んでいる。

【質問】高齢者個別計画とネットワーク作成の現状は。

【保健福祉課長】町の防災計画で位置付けている「避難行動要支援者」は1403人である。個別計画は本人の同意を得た上で関係機関と連携し、策定を進める。いざという時の対応を、地域に根ざした民生員と協力していきたい。



猪苗代高校生による慰問コンサート



今年も「敬老の集い」が行われた

【質問】地域共生社会の実現に向けた社会活動への参加促進は。

【保健福祉課長】お元気クラブや高齢者サロンへの参加を促進している。高齢者サロンは、行政区ごとに1カ所以上の設置を目標にしている。

【質問】免許証返納後の社会活動参加についての対応策は。

【保健福祉課長】デマンドタクシーなど、足の確保からも体制づくりは必要不可欠である。

【質問】高齢者いきがいくりの取り組みは。

【保健福祉課長】第8次高齢者福祉計画では「老人クラブへの参加奨励と活動の充実」「ボランティア活動への参加促進」を掲げている。現在、老人クラブは12クラブ、会員数338人である。

サロンやボランティア活動、趣味活動、健康づくり、地域活動の質や組織力を高める使命がある。

【質問】高齢者学級を開設する考えは。

【生涯学習課長】高齢者学級として「生き粋セミナー」を毎年開催しており、新たに開設する予定はない。

【質問】高齢者学級講座「生き粋セミナー」の内容は。

【保健福祉課長】歴史に触れる講演会と、教養を高める講座等を計画している。

【質問】老人世帯が増加しているが、対策と対応は。

【保健福祉課長】住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供され、地域包括ケアシステムを町全体で構築することを目指し、事業を展開する。



スポーツに親しむ高齢者

Q. 学力向上のための取り組みは A. 教職員の資質向上が不可欠

【質問】命を守る防災教育の重要性をどう考えているのか。

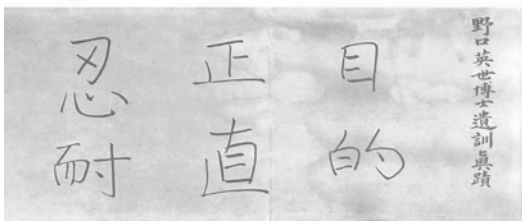
【教育総務課長】フィールドワークや研修会等を実施し、災害への理解、いざという時の身の守り方等を学習している。

【質問】野口英世博士の遺訓と歴史を生かし、郷土の歴史を踏まえた教育が必要であると考えているか。

【教育総務課長】郷土の歴史を理解してもらうことは非常に大事だと思う。新任の教職員へは、半日ほどで亀ヶ城址や野口英世記念館、町の歴史等について研修を行っている。

【質問】郷土の将来のための視点は備えられているか。

【教育総務課長】志高く、辛抱強く、猪苗代の未来を開く人材育成を目指す経営スローガンのもと、教育活動を推進している。郷土の将来に役立つ人材は、郷土を愛する人材を育成することが不可欠であると考えている。



野口英世博士の遺訓



細貝 功人

Q. 高齢者世帯の現状は

A. 65歳以上の高齢者世帯は増加傾向である



五十嵐ミエ子

Q. 高齢者がスポーツを行える環境をつくることは
A. スポーツ振興宣言の町として備えることは必要不可欠



運動公園のゲートボールコート

【質問】ゲートボールをどのように受け止めているか。
【生涯学習課長】適度な運動は健康を維持する上で効果的なもので、ゲートボールは若年層から高齢者まで誰でも気軽に楽しめる、体力向上と健康増進につながる素晴らしいスポーツである。
【質問】天候に左右されない室内ゲートボール場の建設を検討する考えは。
【生涯学習課長】小中学校の統廃合があり、体育館等の利用、費用対効果などを見据えながら検討していきたいと考えている。

Q. 観音寺川下流の桜並木延長は
A. 河川法により、川の流れを阻害する植栽は制限されている



観音寺川下流の整備が必要

【質問】観音寺川流域の住民が安心安全に暮すために、観音寺川下流の整備が必要と考える。現在の状況と今後の見通しは。
【建設課長】観音寺川は一級河川で、福島県が河川管理者となっている。河川の景観や環境保全を確保する目的で、県から町が除草作業を受託し、地元各行政区に町から委託している。今後も河川沿線の皆様のご協力のもと、環境保全に努めていく。

Q. 少子化に歯止めをかけるため、税負担能力のない子どもに課税されている国民健康保険税の均等割減免を
A. 地方税法にない減免は難しい

【質問】国民健康保険税は、子どもも含め、世帯内加入者数に応じて賦課される均等割があるため、子育て支援と逆行しており、改善が求められる。本町の人口減少や少子化の対策として、子どもの均等割減免の考えは。
【町民生活課長】地方税法の規定に基づき国民健康保険税を算定しているため、町単独での実施は難しいと考える。

Q. 民間の力を観光振興に活かすため、観光協会を株式会社へ転換しては
A. 株式会社化へ町は指導していない

【質問】株式会社という利益を追求できる組織にしたほうがよいのでは。
【商工観光課長】観光協会は独立した団体で、指導的に株式会社化ということは難しい。
【質問】外国人観光客の誘致努力は。
【商工観光課長】セールスポイントを打ち出し、誘客活動を展開する。
【質問】町民からの意見を集約し、活力としては。
【商工観光課長】多様な関係者の意見を活用・連携し、観光振興に取り組む。

Q. 健康診断結果で健康保険税に差をつけては
A. 健康保険税を減らすことは難しい

【質問】町民の健康寿命は。
【保健福祉課長】町の数値はないが、県で推計した健康寿命に代わる「到達者度」がある。男性82・53歳、女性85・67歳で、県平均をわずかに上回っている。
【質問】健康診断の結果を改善する努力をしない人が多いのでは。
【保健福祉課長】保健師が個別指導や訪問を行い対応している。
【質問】健康診断の結果を早く通知できないか。
【保健福祉課長】福島県保健衛生協会に委託しており、若干時間がかかる。やむを得ない状況である。
【質問】町民の死因分析を行い、死亡の原因を公表すれば、それに対して気を付けるのでは。
【保健福祉課長】健康に対する意識をしっかりとつていただくため、今後周知を図っていく。



健康づくりを応援する
ふくしま健民カード

Q. 自治体戦略2040構想研究会の報告をどのように捉えているか
A. 速やかに取り組むべき提言内容である

【質問】自治体戦略2040構想研究会の報告内容は。
【企画財務課長】子育て、医療など6つの個別分野の課題と、自治体が住民の暮らしを支える基盤として、その機能を持続可能なものとするために、必要な方向性が示されている。
【質問】危機への対応こそが新たな発展のチャンスである。20年後に向け組織の立ち上げは。
【企画財務課長】具体的な打開策が求められており、組織のあり方を検討していく。



渡辺 真一郎



瀧田 勝昭

Q. 猪苗代城跡を町の顔として活用を
A. 国の指定史跡を目指したい



猪苗代城址の石垣

【質問】猪苗代城が一国一城制度で残ったのは。
【生涯学習課長】土津神社、保科正之公を守護のため支城と残す。また、中通りを抑えるためと思慮される。
【質問】危険を示す措置がされている石垣がある。科学的経過観察を。
【生涯学習課長】科学的に計測することについても保存管理計画の中で取り組んで進めたい。

【質問】土津神社は保存修繕後、境内に訪れる人が増加している。猪苗代城址も保存修繕して文化財を活用し、交流人口の増加を計ることが必要である。
【生涯学習課長】文化財は保存中心だったが、インバウンドも絡めた活用、利用が文化庁で重要視されている。
現在は県指定だが、知名度のため、国指定を獲得したい。文化庁文化審議会史跡委員会は「猪苗代城址の時代から幕末まで続いた猪苗代城跡は歴史的な意味がある。一国一城令でも廃城されず会津藩の支城として、さらに土津神社の守護として、会津藩とは深いかかわりがあり、歴史的背景を考えると国の指定史跡になり得る可能性がある。」との意見だった。



小黒川の除草作業

Q. 小黒川の浸水箇所の対策は
A. 雨水排水対策は、本町の大きな課題である

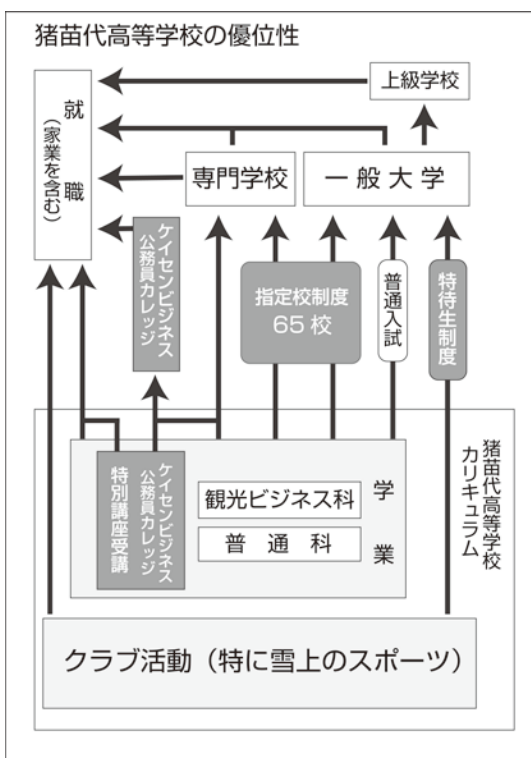
【質問】近年地方の中小河川で浸水被害が多発している。高橋川等の一級河川管理者への働きかけは。
【建設課長】高橋川は翁島駅前集落から下流猪苗代湖まで流れを阻害する部分の改修を、県で調査予定である。観音寺川も浚渫の要望書を提出し、雑木や草の除去と河道掘削を今年度県で実施する

【質問】小黒川の石垣の草を刈り払いしている集落や個人がいる。水門の上流側を浚渫する集落もある。住民との協働は。
【上下水道課長】関係地区の身近な水路として引き続き協力を得ながら、町民との協働により都市下水路の維持管理をしたい。
【質問】小黒川は大雨の際に北高野、千代田、廻谷地地区で冠水被害等が発生する。行政課題である今後の対応は。
【上下水道課長】整備した当時と今では現況も変わり、国道115号の東側からの流入がかなり多いので、今後関係機関と調整しながら検討していく。



佐瀬 真

Q. 猪苗代高校存続へ向けて独自の考えは
A. 様々な案を検討したが、具体的に成立しなかった



猪苗代高等学校、進学チャート

【質問】猪苗代高校の優位性
【教育総務課長】一学年一学級の例外措置の他、特色ある学科の設置を考えていく。
【質問】他町村では存続に向け、寄宿舎の設置や通学の二次交通整備などを施し、廃校を回避したところもある。当町の独自の案は検討してきたか。
【副町長】通学費や通学バスの問題、寄宿舎など県とも話し合ってきたが、具体案として成立しなかった。

【質問】廃校になった場合の経済的損失は計算したことがあるか。
【教育総務課長】具体的な算出をしていない。存続に向けての運動をしているため、損失が想定外なので答えられない。
【質問】他町では数億円規模の損失と試算している。これを考えていないのは経済的危機の欠落ではないのか。
【町長】存続に向けて、県へのお願いや後援会で話しをしている。

【質問】プロポーザル方式で設計者を決めたが、同一敷地内での建設条件は実施設計前に変えるのか。
【教育総務課長】保護者への説明が終わり、大きな要望がないので、条件を変えるほどの変更はないと考える。
【質問】多くの税金を投入して作る施設なので、それらのメリット、デメリットを町民へ説明する必要があるのでは。
【教育総務課長】これから周辺の関係区長と協議を行う。それ以外の方から違った意見が出たら教育委員会としては困るので、保護者や児童、教職員の意見を最重要視して作りたい。



統合猪苗代中学校への建替え

【質問】本来なら今年開校予定であったが、3年で状況が変わった。開校前に統合が無理ならば、せめて学区制の廃止は出来ないか。
【教育総務課長】諸条件がそろえば他校に通うことは出来るが、学区制がある以上学区をなくすることは出来ない。

委員会レポート

総務常任委員会

地域公共交通対策 の取り組み

〔岐阜県海津市〕

平成27年7月に地域公共交通網形成計画を策定し、10月から定時定路線の3路線とデマンド交通に再編を行い、日常生活に必要な公共交通の確保により、定住促進や地域活性化を目指している。

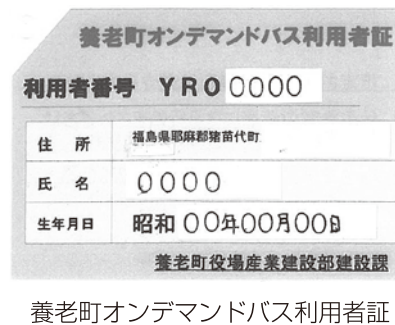
基本運賃は、定時定路線200円、デマンド交通300円で、市内356ヶ所に停留所を設置した。対象者は制限せず、予約により月曜から金曜の午前8時30分から午後5時まで車両5台で運行している。また、運転免許証を自主返納した高齢者にコミュニティバス回数券の配布や、運転経歴証明書の提示でデマンドバスの運賃半額制度を実施している。

運行車両は10人乗4台と8人乗2台で、町が購入し運行委託業者へ貸与している。誰でも登録でき、永久的に利用できる。基本運賃は、1回の乗車が200円で期間内何度でも乗車可能なパスポート券もある。障害者手帳や運転経歴証明書を持つ人の料金は半額になる。

【意見】

区域面積が大きく、市街地や集落が分散している所は、乗車場所から目的地まで運行するデマンド型システムが有効と考える。更に公共バスへの運営補助の拡大や通学バス等の運行も視野におき、定時定路線バスとデマンド型乗合タクシーの運行ルート、乗降時間、乗降場所等柔軟な仕組み作りが必要と考える。

〔岐阜県養老町〕
24年11月にオンデマンドバス方式を導入し、無料での試行運行後、25年11月より有料での本運行を開始した。需要に応じたコース運行と、車両の小型化による利便性の高いバス停240ヶ所を設置し、システムによる経路作りで効率の良い運行ができています。



養老町オンデマンドバス利用者証

経済建設常任委員会

北海道新幹線開業後 の観光振興

〔北海道七飯町〕

平成27年開通時と比較して、減っている観光客をどの程度食い止められるかが今後の課題となる。一方、外国人観光客が増えており、インバウンドへの対応が求められる。

〔北海道函館市〕

観光メインの函館ブランドの確立や首都圏、北関東、東南アジアへのプロモーション、さらに修学旅行、新規の航空路線、クルーズ客船の寄航など、いろいろな形で誘致に向けて働きかけが行われている。

【意見】

両地域に共通している施策は、新幹線を利用した修学旅行を近隣市町村と連携して誘致する活動と、多言語のホームページ、アプリ開発、4ヶ国語表記の案内板を整備することである。インバウンドについては、政治・経済の動向に影響を受けるリスクの認識が必要である。今後、本町においても取り組みが求められる。



北海道新幹線を利用した修学旅行を誘致

【意見】

大沼の水質保全について〔北海道七飯町〕
アオコの発生など、流域河川からの水質汚染進行が懸念され、平成9年に10年間の保全計画を策定している。いかだにヨシを浮かべ、富栄養物質の除去や流域河川に緩衝池を備え、土石などの直接流入を防いでいる。

大沼環境保全計画を策定し、水質保全に関する施策を進めている。水質改善だけでなく、緑化・森林保全・生態系の保存も継続し、環境学習の場となっており、本町でも関係行政機関と連携、努力が求められる。

文教厚生常任委員会

歴史・文化の伝承

〔北海道江差町〕

江差町教育推進計画は、歴史文化、ふるさと教育をうたい、テーマを「ふるさと江差」に心の向く教育の推進としている。

「ふるさと江差」の文化を高め、心豊かに生きる芸術文化活動の充実」と「ふるさとの遺産を伝えて活かす文化財・博物館活動の充実」を大きなポイントとした。地域づくりに取り組み「人づくり」を目指し活動の進展に努める。郷土愛に支えられ、歴史文化の伝承と保存に努めた事業の推進に取り組んでいる。

【意見】

本町の魅力の源である地域文化を大切に保全、活用していくことは町づくりの重要な課題である。どのような経緯で変化・発展し、あるいは弱小化しつつあるのか、現状を見据え地域社会全体で共通認識を持つことが求められる。

小中一貫教育

〔北海道松前町〕

教育環境の充実の一つとして、小中一貫教育、地域との連携、コミュニティ・スクールの推進を掲げている。



民謡「江差追分」を語り継ぐ

「町村議会広報クリニック」

平成30年7月11日、全国町村議員会館で、北海道、東北地区の町村議会から27町村議会参加のもと、講演、広報クリニックが行われた。

議会広報の編集の前提となるのは、多くの住民に議会の仕組みを知ってもらい、若者や高齢者、子育て中の女性など、多様な読者に知ってもらいたいことを伝えることである。そのためには「読んでみたい」「見る」紙面、目の動きを意識した文章量の配置などがある。全国広報コンクール優秀誌を参考にしながら「そうなのか！」と読んでもらえる広報編集に取り組んでいきたい。



多くの町民に読んでもらえる広報誌を

「議会改革調査特別委員会及び委員の指名」

議会も地方分権の時代を向かえ、自己責任と自己決定の範囲が拡大する中、それら社会の変化に対応する必要がある。議会は町民と共に自立、協働のまちづくりを推進するため積極的に情報を発信し、公正で透明な開かれた議会を構築することが大切である。議会活性化のため、議長を除く13人の委員で構成する議会改革調査特別委員会を設置した。

設置期間は平成31年9月定例会までとした。



副委員長
佐藤 光幸



委員長
瀧田 勝昭



すずき ななみ
鈴木 七海さん（吾妻中学校）



わたしたちの町



猪苗代町の良いところは、四季がはっきりしているところでしょうか。

春は、観音寺川に桜が咲き、川をピンクに染め、多くの観光客で賑わいます。夏は、湖での水遊びや登山。猪苗代湖と磐梯山は猪苗代町の象徴です。秋は、磐梯から吾妻にかけて、紅葉がじゅうたんのように。冬の厳しさは、スキー場の賑わいを呼びます。山上から見える町の景色は、幻想的です。

春夏秋冬、それぞれの顔を持つ猪苗代町。季節によってまったくちがう顔を見せる魅力をも、多くの人に知ってもらいたい。

会津の歴史を伝える土津神社、噴火の怖さを今に伝える見祢の大石などの歴史と自然を、私たちは昨年ジオパーク学習で学びました。

そんな猪苗代町ですが、環境を守るために、小中学生が湖のゴミ拾いや水草取りのボランティア活動にも、取り組んでいます。

猪苗代町の自然や歴史遺産を守る活動などについて、これからも機会を見つけて調べていきたいと思っています。

そんな猪苗代町ですが、環境を守るために、小中学生が湖のゴミ拾いや水草取りのボランティア活動にも、取り組んでいます。

春夏秋冬、それぞれの顔を持つ猪苗代町。季節によってまったくちがう顔を見せる魅力をも、多くの人に知ってもらいたい。

傍聴においで下さい

**12月議会は
12月4日(火曜日)
開会予定です。**

【一般質問予定日：10日(月)・11日(火)】

※質問者・質問内容については12月1日以降に町のホームページ（議会事務局）に掲載します。また各公共施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

掲示施設名

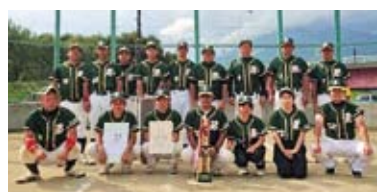
- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・まちのえき まるしめ

議長杯ゲートボール大会

9月28日に猪苗代町運動公園ゲートボールコートで行われ、「西久保Bチーム」が2連覇しました。おめでとうございます。



議長杯ソフトボール大会



8月26日に猪苗代町運動公園で行われました。「ベル・ストーンズ」の皆さん、優勝おめでとうございます。

今号の表紙

スカウト育成会の子ども達が、9月9日におこなわれた猪苗代湖のヒシ回収作業に参加しました。



編集後記

6月の大阪府北部地震では女児がブロック塀の下敷きになり死亡し、7月の西日本豪雨では221人の死者を出しました。異常な高温での熱中症による死者は、7月だけで133人となりました。9月には台風で関西国際空港が浸水して閉鎖、北海道胆振東部地震では土砂崩れ、大規模停電などが発生しました。災害はいっ起こるかわかりません。猪苗代町でも十分な対策が必要で。

議会改革調査特別委員会が設置されました。今後、議会から住民の皆様へ意見をお聞きすることがあります。議会に関心を持っていただくと、議会だよりが役に立ちます。編集委員一同懸命に議会の内容が伝わるように努めております。議会の在り方に対するご意見をお待ちしております。

議会広報編集特別委員会

委員長 後藤 公男
副委員長 佐藤 英一郎
委員 星野 あけみ
委員 瀧田 勝昭
委員 佐瀬 真
委員 細貝 功人
委員 渡辺 二公
議長 長沼 一夫